

学校長挨拶



ジョホール日本人学校へようこそ

校長 角 保 宏

「ジョホール・バル」って聞いたことはありますか。知らない方が多いかと思いますが、「ジョホール・バルの歓喜」といえば、昔からのサッカーファンであればきっと思い出されることでしょう。そのジョホール・バルはマレー半島最北端にあり、わずか1 Km 余りの海峡を挟んでシンガポールと向かい合っているマレーシア第2の都市といえ、わかりやすいでしょうか。

日本サッカーチームがワールドカップに初めて出場を決めたイラン戦が行われた1997年（平成9年）4月、本校はここジョホール・バルの地に開校しました。今年は学校創立21年目の年を迎えました。

平成29年4月1日現在、小学部57名、中学部21名、計78名の子どもたちがジョホール日本人学校で学んでいます。子ども一人ひとりの個性を最大限に伸ばし、「生きる力」をはぐくむとともに、国際社会に有用とされるグローバル人材の育成を学校教育目標に、『魅力があり、信頼できる学校づくり』をめざしていくために、教職員全員の英知と熱意を結集して弛まぬ努力を続けて教育活動に取り組んでいます。

日本人学校の子どもたちは、素直でやさしいとよく言われます。本校の子どもたちも素直で優しく、中学生と小学生も仲が良く、特に中学生はいろいろな場面でリーダーシップを発揮し、学校の中心として行事等を盛り上げています。

行事といえば、5月末の運動会と10月初めのペスタクラパは本校の2大行事です。運動会は暑い中の開催ですが、子どもたちは委員会を中心に運営や進行を担当しながら競技にも全力で取り組んでいます。特に小学部4年以上と中学生で踊るよさこいソーランは、中学部3年がリーダーとなり小学部高学年と創り上げている本校の伝統の一つです。

ペスタクラパ（文化祭）は、小学部1年から中学部3年までがクラスごとに劇や学習発表、また全体合唱などを披露しています。体育館の中での発表なので暑いのですが、保護者の皆さんもほとんどの方が見に来られ、子どもたちの力演に最後まで大きな拍手をいただいています。また、近隣の現地校との交流にも力を入れ、現地の人々や文化を知る取り組みも行っています。

多くの方が期待されている英会話も習熟度別に分けた3つのグループを3人のマレー人講師が週2~3時間実施しています。少人数で行っているため、英語に触れる機会も多く、楽しく英語を学習しています。

本校には放課後の部活動やクラブ活動が週2~3回あり、子どもたちは楽しみながら運動しています。

以上本校のことについてご紹介いたしました。入学を希望されている方は、ご遠慮なくご連絡ください。